



# 第176回 戦後の国際体制

## 1 国際連合の発足

- ・大戦中の大西洋憲章、連合軍共同宣言、モスクワ宣言、( ) を経て、国際連盟に代わる新しい国際機関の設立が決まっていた。
- 1945年4~6月に( )が開かれて( ) が採択され、10月に51か国が加盟する国際連合が発足した。

★ ( ) (1945~2023年現在)

本部…アメリカの( )

- ・全ての加盟国が平等に参加する( )を基本としたが、経済制裁や軍事制裁など強力な権限を持つ( )が設置された。
- ※アメリカ・ソ連・イギリス・フランス・中華民国の5カ国は、( )とされ( )が与えられたが、非常任理事国には与えられていない。
- ・経済社会理事会が設置されたほか、国際連合教育科学文化機関( )・国際司法裁判所・国際労働機関(ILO)・( )・国連食糧農業機関(FAO)などの専門機関が設置された。
- ・1948年、第3回国連総会で( )が採択された。



国際連合の本部ビル

本部はニューヨークのマンハッタンにある39階のビルである。加盟国は2011年に独立した南スーダンを加えて、193か国となった。



本部前のモニュメント

本部の前には、ねじ曲げられた銃の彫刻が置かれている。平和を目指すという国連の精神をあらわしたものであろう。



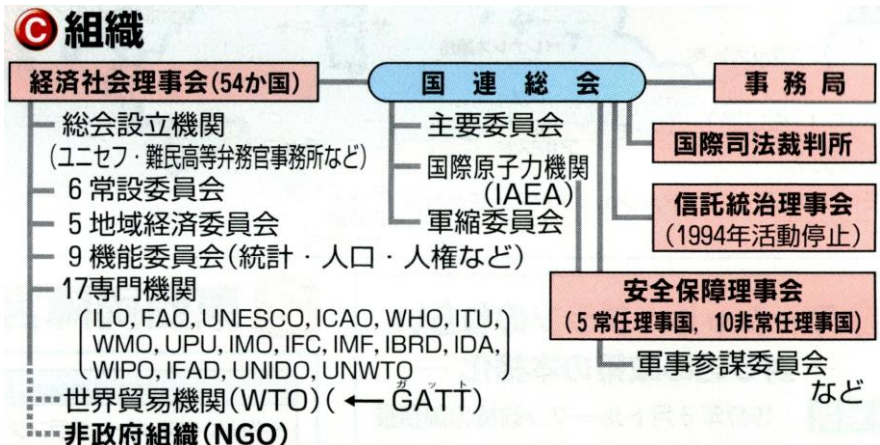
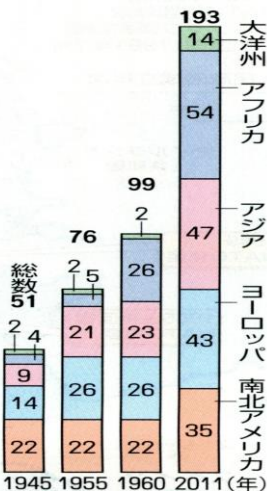
第1回の総会

総会は、1国が1票の権利を持ち、重要な案件については3分の2以上の賛成を必要とする。安全保障理事会とは違い、決議に拘束力はない。

### <世界経済>

- ・世界経済では( )・( )が設立された。
- ・また固定相場の( )が導入されドルは世界の基軸通貨となった。
- ※この経済体制を( )という。
- ・1947年、自由貿易体制を目指す( )が調印された。

### B 加盟国の推移



## 2 敗戦国の扱い

- ・連合国はドイツと日本を占領し、戦争指導者を戦犯として国際軍事裁判で裁いた。
- ・イタリアなどその他の枢軸国については、1947年、パリ講和条約が結ばれた。

### <ドイツ>

- ・ドイツは、米・英・仏・ソの4カ国によって分割占領され、ポツダム協定に従って非ナチ化が進められた。
- ※同じく首都のベルリンも4カ国によって分割管理された。
- ・1945年11月、( )が開かれ、ナチスの指導者が裁かれた。
- ・オーストリアも、やはり4カ国によって共同管理された。



### <日本>

- ・日本は、マッカーサーを最高司令官とする連合軍総司令部によって、占領された。
- ・( )、( )、( )、教育改革などが行われた。
- ・1946年、極東国際軍事裁判所が設置され、いわゆる( )が行われた。  
→東条英機ら日本の戦争指導者が裁かれた。
- ・1946年11月、戦争放棄や国民主権をうたった( )が公布された。



ニュルンベルク裁判の被告

ニュルンベルクは、ナチスの党大会が開かれた場所である。前列左から、ゲーリング、ヘス、リッベントロップ。12名が死刑判決を受けた。



マッカーサー元帥

マッカーサーは、昭和天皇を処罰せずに日本を統治することを選択した。「I shall return」や「老兵は死なず」など、名言も多い。

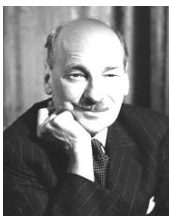


東京裁判の東条英機

元首相の東条英機をはじめとし、A級戦犯7名に死刑が宣告された。しかし連合国の戦争犯罪は一切裁かれなかった。

## 3 戦後のイギリス

- ・イギリスは、第二次世界大戦に勝利はしたが、各地の植民地が次々に独立を果たしていき、世界におけるイギリスの影響力は大きく低下していった。



アトリー首相  
マクドナルド以来の労働党政権。「ゆりかごから墓場まで」のスローガンで、福祉の充実に努力した。

- ◆ ( ) (労働党) (在任 1945~1951年)
- ・大戦中の1945年、チャーチルに代わり( )に参加した。
- ・労働党内閣であり、社会福祉制度の充実や( )を行った。
- ・1947年、( )とパキスタンが、英連邦内の自治領として独立した。
- ・1949年、エールが英連邦から離脱し( )と改称した。



ポツダム会談(後半)

イギリスのアトリー(左)、アメリカのトルーマン(中央)、ソ連のスターリン(右)。会談後のポツダム宣言により、日本の無条件降伏が勧告された。



アイルランドの国旗

1921年にすでに独立を果たしていたが、完全にイギリスから離れた。しかし北アイルランド問題は未解決のまま残った。国旗の色は、左から緑・白・オレンジである。